

平成30年度共同研究シーズ事業化支援事業(バイオ技術事業化促進事業) 採択事業の概要について

公益財団法人 庄内地域産業振興センター

1. シーズ探索型

採択事業名		研究開発概要	採択企業名	事業実施予定期間	助成金額等
新 規	松ヶ岡地域におけるワイン用ブドウの栽培方法の最適化の研究	当社が昨年4月より植栽を始めた、鶴岡市松ヶ岡地域でのワイン用ブドウ栽培の生育観察とブドウ果汁等のメタボローム解析により、ワイン用ブドウ栽培の最適化を目指す。ブドウ3品種のメタボローム解析による構成成分の比較、松ヶ岡地域と西荒屋地域(食用ブドウも含む)、山梨県などの国内産地の3栽培地での比較、また、土壌環境や土壌の温度、気温等の栽培環境のモニターや観察用カメラと作業記録を基にした生育観察を行う。	株式会社 エルサン(鶴岡市)	平成30年7月～平成32年2月末	採択額:50万円 助成率:2/3
	メタボローム解析による水産練製品の品質評価と製法の確立	当社で扱っている水産練り製品の原料(すり身)は、庄内浜産の地魚と輸入の冷凍品とに大別されるが、それらの原料間での構成成分の違いや、加工工程における成分の動態変化をメタボローム解析により検証し、商品の品質向上、及び新商品の開発に寄与する製法の確立を目指す。主に初年度は原料評価から加工工程初期を、次年度は加工工程全体から完成製品までを評価対象とし、段階的に研究を進めていく。	有限会社竜泉・滝川(鶴岡市)	平成30年7月～平成32年2月末	採択額:50万円 助成率:2/3
	飼料用米が豚肉の栄養機能性とおいしさに寄与する影響に関して	金華豚や三元豚における機能性の高い物質を評価し、新たな情報発信やマーケット創出に活用することを目的とする。さらに飼料用米の配合によって、機能性成分への変化を調べることも目的とする。代謝物を一斉測定できるメタボローム解析を活用し、これらの機能が既知の物質の探索だけでなく、できるだけ幅広く多くの物質を測定し、新しい機能性の評価も行う。	株式会社平田牧場(酒田市)	平成30年7月～平成32年2月末	採択額:50万円 助成率:2/3
	飼料変更による鶏卵の旨味成分・機能性成分等への影響の分析	親鶏に給与する飼料の素材及び配合分量等の変更を行い、産み出される卵の栄養成分・旨味成分や機能性成分に与える影響を先端研との共同研究(メタボローム解析)にて明らかにする。それにより最適な飼料配分による健康に良い美味しい卵を生産し消費者に提供していきたい。また、次のステップとして、その卵を加工した新商品開発において、製造条件等の違いによる影響を上記同様に共同研究し、高品質な美味しい商品を作りたい。	株式会社半澤鶏卵(天童市)	平成30年7月～平成32年2月末	採択額:50万円 助成率:2/3
	メタボローム解析を活用した市場性の高い優れた米麴の開発	発酵食品を作る時に使用される米麴は、原料の米に水分を与え蒸したものに種麴を撒き麹菌の増殖に適した環境下で培養して製造されており、多種の原料の米や種麴を上手く組み合わせ、最適環境を整えることにより、特色を持たせた様々な米麴が製造販売されている。本事業では、原料・種麴・環境などの違いが米麴の特質に与える影響について、メタボローム解析を用いて分析し、それを活用し市場性の高い優れた米麴の開発を目指す。	株式会社アスク(山形市)	平成30年7月～平成32年2月末	採択額:50万円 助成率:2/3
	メタボローム解析を活用した「糯米」の成分変化を見据えた製造条件の検証・確立と「糯米」の美味しさに寄与する成分の分析・解明	当社では主力商品として、餅を製造・販売している。本事業において、メタボローム解析技術を活用し、餅の製造工程の製造条件(杵で搗く回数等)の違いにおける成分値の変化及び「糯米」の品種毎の特長・成分を分析・解明することを目的として共同研究を実施する。餅を製造する上で、美味しさを示す指標となる成分や機能性成分が判明すれば、今後の商品開発の上で有用であり、また、販売促進の材料として期待できる。	城北麵工株式会社(山形市)	平成30年7月～平成32年2月末	採択額:50万円 助成率:2/3
継続	メタボローム解析によるトマトの成分変化を見据えた製造工程の確立	当社では、砂丘地にてトマト等の農産物を栽培と製造加工を行い、商品を販売している。その中でもトマトについては、3品種の原料をブレンドし、製造加工を経て、「美味しい」トマトジュースを製造し販売している。これまでは、トマトの各品種および製造加工工程での成分変化等について科学的裏付けがなかったが、前年度はメタボローム解析技術を活用し品種間の成分構成の比較、加熱過程における成分の動態変化が明らかになった。その結果を踏まえ、2次過熟条件など製造加工工程における成分動態の解析を行うとともに、県工業技術センター庄内試験場の参画の下、加工品の品質に関する高度化や新商品の開発に関する研究を行うこととした。	株式会社山本組(鶴岡市)	平成29年6月～平成31年2月末	採択額:100万円 助成率:2/3

2. 事業化推進型

採択事業名		研究開発概要	採択企業名	事業実施予定期間	採択額等
継 続	山形県産オニグルミを用いた機能性食品素材の開発	山形県産クルミを用いた機能性食品素材の開発を目指す。主にオニグルミを用いたクルミ油の商品化を検討しつつ、压榨した「搾りかす」の有用成分や機能性を本事業において明らかにし、これらの成果を活かした機能性食品素材の開発に取り組む。	三和油脂株式会社(天童市)	平成29年6月～平成31年2月末	採択額:500万円 助成率:2/3
	二次リンパ組織移植法(SLOT法)と人工知能技術を融合した次世代創薬プラットフォーム開発	二次リンパ組織移植法(SLOT法)は従来の免疫感作実験と比べ、多様な抗体医薬品候補を取得可能な手法である。本研究開発ではMOLCUREが開発を行っている抗体医薬品に特化した人工知能を、SLOT法から得られる免疫データを用いて学習させることにより、多様かつ有用な抗体医薬品候補の提示が実現可能となる次世代抗体医薬品探索プラットフォームの開発を行う。	株式会社MOLCURE(鶴岡市)	平成29年6月～平成31年2月末	採択額:500万円 助成率:2/3